

令和2年度 学校経営計画書

石川県立医王特別支援学校小松みどり分校
学校長 山本 智秀

1 教育目標

(1) 教育目標

本県唯一の病弱教育を行う特別支援学校として、児童生徒の能力や可能性を育む教育を推進し、知・徳・体の調和のとれた人格形成に努める。

(2) 教育方針

- ① 「明るく、仲良く、強く」生きる資質や能力を育むとともに、自尊感情の涵養と他者を尊重する心を育て、心身ともに「安心して学べる安全な学校」を目指す。
- ② 医療機関と連携し、病種・病状並びに発達段階に応じた教育を推進する。
- ③ 学外に病弱教育に関する情報提供を図り、病気や障害のある児童生徒の教育的支援を積極的に果たす。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 病気やけがなどの治療により、地域の学校に通うことが困難な児童生徒が学んでいる。
- ② 慢性疾患、特に心身症等で転入学する児童生徒は、学習空白を補い、コミュニケーション能力の育成に励み、前籍校復帰をめざしている。

(2) 児童生徒に関する中・長期的目標

- ① 家庭及び医療機関と連携して、基本的な生活習慣を身につけ、毎日登校する姿勢や基盤を養う。
- ② 個に応じた授業を行う中で、基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身につける。
- ③ 様々な体験・交流活動を通して、人を思いやる気持ちや協調性、社会性を養う。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 小松市民病院等の医療機関や家庭と連携し、病種や病状及び発達段階に適した「個に応じた教育」を推進する。
- ② ICT機器等を含む教材・教具の工夫や開発、校内での研修や研究授業を充実させることを通して、授業改善に努め、教科指導の充実に努める。
- ③ 児童生徒や保護者のニーズに応えるために、各種研修会等に参加し、病弱教育の専門性や技能、実践力を身につける。
- ④ 前籍校や諸機関と連携し、一貫性のある教育的支援を行う。
- ⑤ 登校が難しい児童生徒一人一人の病状等に応じた登校支援に努める。
- ⑥ 限られた時間の中で、教職員の専門性を生かしつつ、教材研究や授業準備を行うとともに、児童生徒と向き合う時間を確保する。

3 今年度の重点目標

(1) 児童生徒の自立

- ① ライフスキルを高めるとともに社会性を養う。
- ② 各教科の基礎基本事項の習得と、主体的に学習に取り組む力をつける。
- ③ 家庭との連絡を密にし、児童生徒の登校意欲が高まるように努める。

(2) 教職員の資質の向上

- ① 教科の専門性を高め、指導力・授業力の向上に努める。
- ② 児童生徒の理解と適切な働きかけの基盤となるカウンセリングマインドを身につける。
- ③ 児童生徒一人一人の病状等に応じた登校支援に努める。

(3) センターの機能

- ① 医療機関及び関連機関との連携に努める。
- ② 前籍校・小中学校との連携に努める。

(4) 教職員の効率的・効果的な時間管理の推進

- ① 業務終了時刻を意識して、教材研究や授業準備、校務分掌等の業務の遂行に努める。

